

主な提案の内容

評価項目		指定管理候補者
基本的な考え方	施設の性格や目的等に合致した方針があること	文化芸術の振興を図り、市民の自主的かつ創造的な文化活動を支援促進するとともに、質の高い自主事業を展開することにより心豊かな生活の向上に寄与することを目的とする。
	市民の平等な利用が確保されていること	条例規則に基づき適正な使用許可、制限を行うとともに、利用者の平等性の確保に努める。
	施設の効用が最大限発揮されていること	J R 下関駅に隣接しており、また新幹線駅や空港の移動圏内であり、さらには国際ターミナルに隣り合うなど、公共交通に恵まれているため、関門エリアのみならず、県内外、ひいては国内外からの集客をも視野にいたした文化事業及び貸館事業を展開する。
団体の経営状態（経営の健全性）		公益法人の会計基準や財団の会計規則に沿って行う。また、貸館しおける事務手続きについては、市の設置条例等の関係諸規定を順守し、適正な処理に努める。
事業計画	施設管理運営の実施方針（合目的性）	昭和 5 2 年の開館当初からの管理運営実績と、長年培ってきた経験をもとに、施設の安全性はもとより市民が安心して気軽に来館できる施設を目指し、管理運営を行う。
	事業への具体的な取り組み方（機能性、独創性）	施設の効率的な運用を図るため、指定管理者自己評価チェックリストによる事業評価を実施するとともに、業務の改善を進めるため、来館者等を対象にした各種アンケートを活用し、より効果的な運営を図る。
	施設の運営体制や組織（責任性、実効性）	施設の維持管理については、電気主任技術者、ビル管理者等の有資格職員により、万全な体制で取り組む。また、管理係、事業係、舞台係、施設係に分かれ、適材適所に人材を配置し、事業を実施する。
	適正な管理や経理（明瞭性、規律性）	公益法人の立場を自覚し、適正な経理を努めるとともに、帳簿や台帳等を整備し、市の要請や各種監査に積極的に協力する。

	安全管理、緊急時等の対応（安全性）	来館者の安全確保を第一に考え、防火管理規定及び危機管理マニュアルを作成し、その遵守はもとより定期的な教育と訓練を実施する。
	環境、障害者等への配慮（社会性）	ハード面ではスロープ、エレベーター、多目的トイレの設備がある。また、ソフト面では、高齢者及び身障者等への気配りは勿論、駐車場や車椅子スペースの事前予約に応じ、さらには福祉施設の団体での観覧には事前に導線確認や多目的トイレの下見等の対応している。
	過去の実績等	昭和52年の開館当初から管理運営実績がある。また、近代先人顕彰館は平成22年2月から、生涯学習プラザは平成27年4月から管理運営を行い。両館ともこれまで目立ったトラブルもなく、安全適正な管理運営を行っている。
自主事業に関する事業計画	実施方針	文化芸術の振興・推進を図る上で市民会館の各ホールを活用し、市民に文化芸術に触れる機会を提供し、心豊かな生活の向上に寄与するとともに、市民の自主的かつ創造的な文化芸術活動を支援促進する。
	具体的な取組み方	音楽、古典芸能、映画等さまざまなジャンルの公演や、ミュージカルに参加する舞台体験、大ホールでスタンウェイピアノを演奏する演奏体験などの体験活動事業を行う。また、市民の自発的な文化芸術活動を推進するため、共催、後援等により、側面から積極的に支援する。
	過去の実績等	平成29年度：24事業、65公演、入場者数46,794名、平成30年度：22事業、63公演、32,989名、令和元年度：27事業、62公演、31,910名
経済性		令和3年度 172,522千円 令和4年度 174,327千円 令和5年度 175,970千円 令和6年度 177,036千円 令和7年度 178,641千円